

「CVMを適用した河川環境整備事業 の経済評価の指針(案)」の紹介

(第5回公共事業評価手法に関する検討会資料)

平成19年12月21日(金)

国土交通省河川局

1. 検討の背景

河川、ダム、砂防等に係る環境整備の経済評価を行う場合、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き(試案)」(平成12年6月)に基づきCVM等で評価を実施している。

一方で、CVMは調査方法により調査結果のばらつきが大きいと学識者等から指摘があり、事業評価監視委員会等でも同様の指摘を受けている。

2. 検討の目的

CVMの精度向上を目的に、現状での実務的な課題や対外的な指摘等を踏まえ、支払意志額算定の効果的な質問方法や適切な配布方法、対象範囲の設定等について検討を行う。

3. 検討体制

5名の学識者と国交省河川局や国総研の関係者からなる検討会を組織し、平成17、18年度で全6回の検討会による検討を行い、「CVMを適用した河川環境整備事業の経済評価の指針(案)」を取りまとめた。

主な課題と改善点

【課題 I】WTPを尋ねる際の「支払い方法」、「回答方式」、「支払い提示額」が明示されていなかったため、提示方法により結果が異なったり、事前調査を行うなどの不具合が生じていた

【対応 I】アンケート調査票の統一的な記載例を作成する

マニュアル記載 事例紹介

① これまで【支払方法】について…
「毎月〇〇円」「年間あたり〇〇円」
どちらか一方の記載を…

『毎月』『年間あたり』
を併記することを推奨！！

(1)もし、あなたの世帯の負担が

毎月1,000円(年間12,000円)の場合、事業に賛成しますか。

毎月1,000円と年間12,000円は、
同じ金額であるが感覚的に「毎月1,000円」は安い印象を受けやすい。

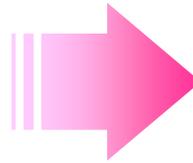
② これまで【回答方式】について…

「オープンエンド」

「二段階二項選択」

「多段階二項選択」

などの回答方式があった。



『多段階二項選択』
とすることを推奨！！

(1)もし、あなたの世帯の負担が毎月50円(年間600円)の場合、事業に賛成しますか。

1. 賛成

2. 反対

(2)もし、あなたの世帯の負担が毎月100円(年間1,200円)の場合、事業に賛成しますか。

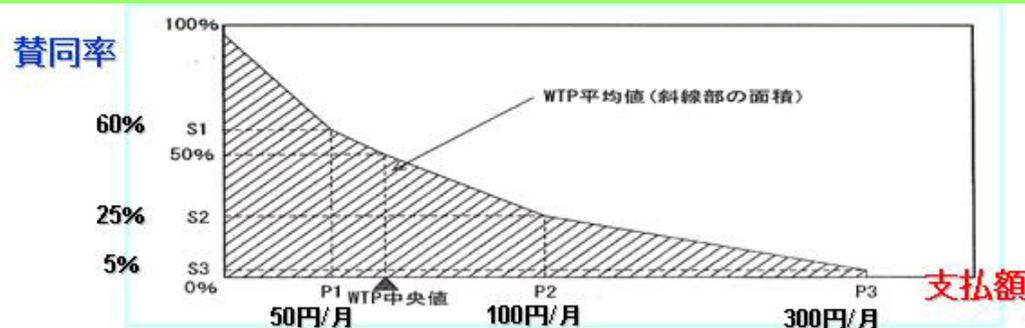
1. 賛成

2. 反対

(3)もし、あなたの世帯の負担が毎月300円(年間3,600円)の場合、事業に賛成しますか。

1. 賛成

2. 反対

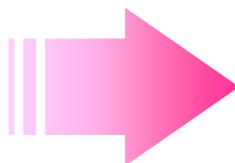


(3段階の場合)

③ これまで【最大提示額】

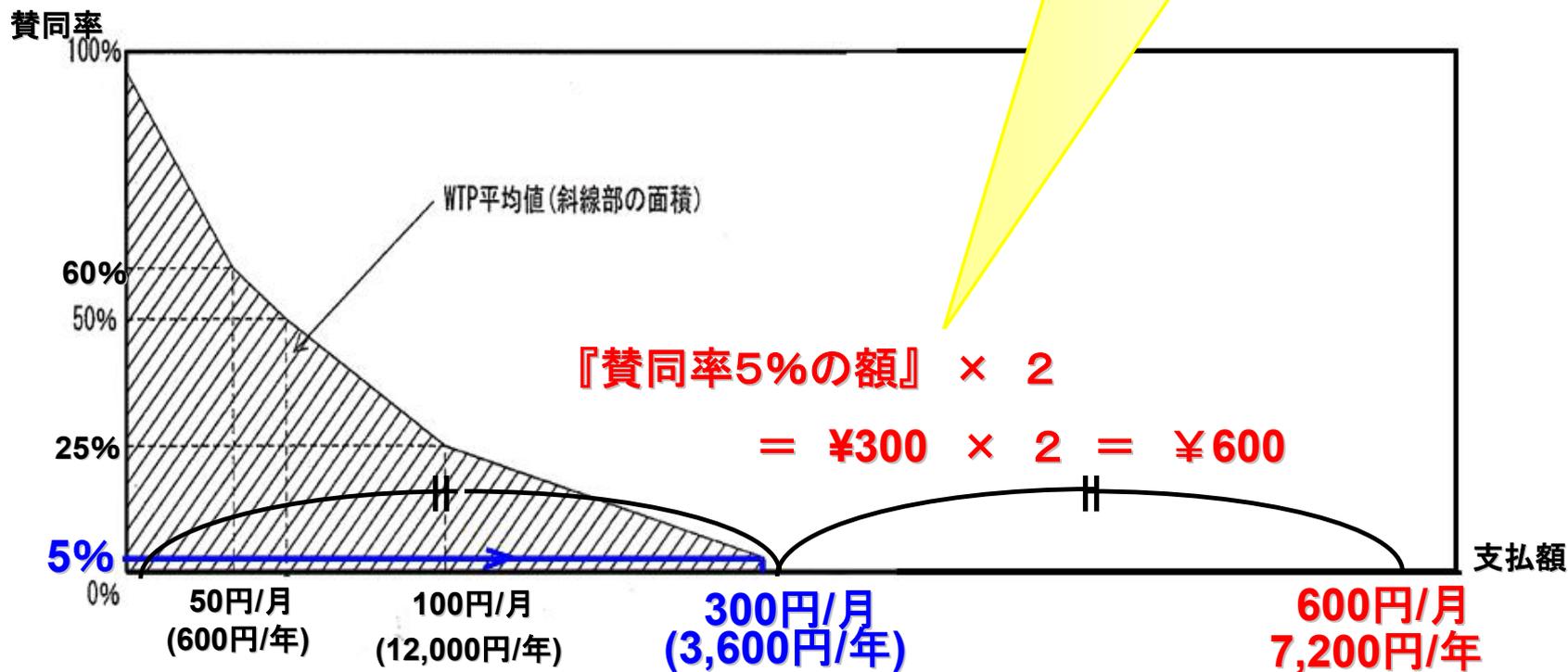
【最小提示額】

について…



設定方法について、規定がなかった。

最大提示額は、
『賛同率5%の額』の2倍
の額とする。

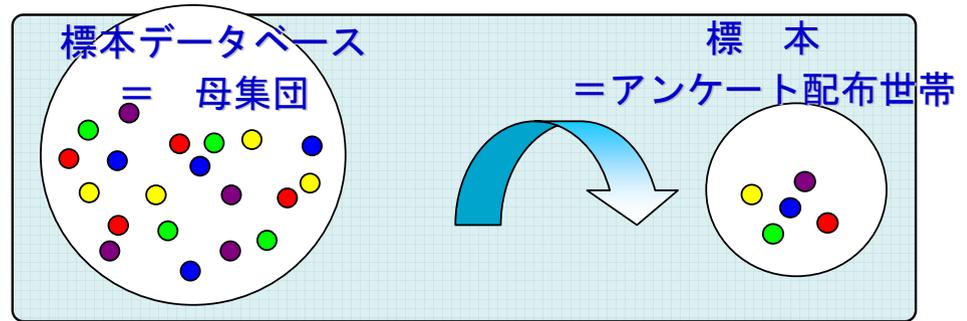


最小提示額は、『最大提示額』の1/100

あるいは、¥50、¥100など少額とする。

【課題Ⅱ】標本抽出にあたり、整備内容に応じた調査範囲や標本を抽出するためのデータベース手法が明記されていなかった

【対応Ⅱ】アンケート調査票配布方法について統一的なルールを設ける



④ 標本データベースについて

データベース名称	標本の代表性	情報の鮮度 無効票の発生	手続き 時間・費用	個人情報の取り扱い
住民基本台帳	◎ 網羅性が高く、偏りが小さい	◎ 毎月更新することから更新性が高く、最新の情報を得ることが可能	△ 時間・費用がかかる。	○ 個人情報保護法により、公的機関のみ使用が認められる。
電話帳	△ 持家世帯・高齢者世帯に偏りが見られる。	△ 更新頻度が一年程度で、更新性が低い。共同住宅など住所が特定できない。	◎ 短期間で実行可能。コストも安い。	△ 目的外使用である。
選挙人名簿	◎ 網羅性が高く、偏りが小さい。	○ 更新頻度は、一年程度である。	○ 時間がかかる。費用はかからない。	△ 自治体によっては閲覧不可の場合がある。
インターネットアンケート	△ 若年層に多く見られる。	◎	◎	○ 登録済みのモニタに対するアンケートであるため、苦情は少ない。

住民基本台帳が、時間・費用面での制約がなければ最適である。
→ 『住民基本台帳』を推奨する。

⑤ アンケートを配布する範囲について

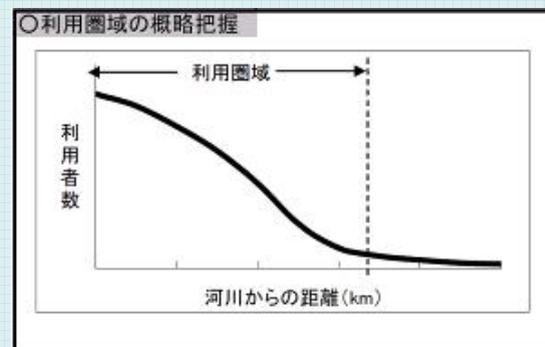
利用実態調査から、アンケート配布範囲を設定する。

◇利用圏域の把握

アンケート調査の前段に、事業箇所にて利用実態調査を行う。

- 利用者が何処から来ているかを把握。
- **利用している大半の方を捕捉できる範囲**を整理。

事業の効果範囲であるとし、
アンケート調査範囲とする。



◇マニュアルでは、整備内容に応じた

標準的な配布範囲を整理。

事業箇所から半径〇〇km

整備内容	事業箇所の特性	
	← 都市河川	地方河川 →
坂路・散策路	20km程度	—
拠点整備	—	40km程度
水辺の楽校	20km程度	10km程度
水辺プラザ	40km程度	20km程度

整備の標準的な事例写真

○坂路



○散策路



○拠点整備(親水護岸等)



○水辺の楽校



○水辺プラザ



散策路



親水遊岸



見晴台



親水護岸



干渉整備